

## エグゼクティブサマリー

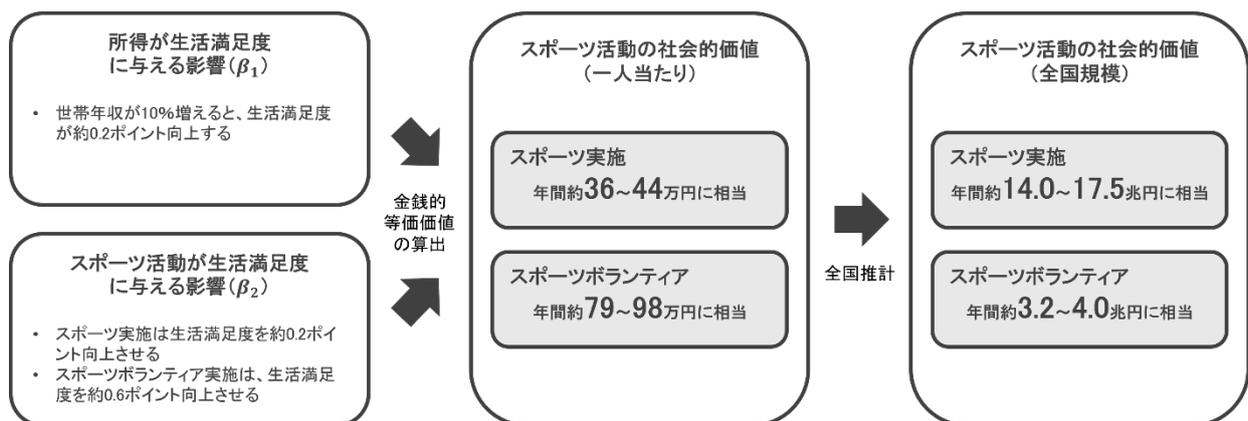
本報告書は、国内のスポーツ政策分野において初めてウェルビーイング評価法を用い、多様なスポーツ活動の社会的価値を金銭単位で評価することを試みたものである。スポーツ振興は、健康増進や精神的充足感の獲得、また地域間交流の促進といった多岐にわたる効果をもたらし、最終的には個人のウェルビーイング向上に寄与するとされている。本研究は、これらの社会的価値をウェルビーイングという包括的な指標で捉え、その金銭的価値を明示したものである。

### ウェルビーイング評価法とは

ウェルビーイング評価法は、主観的ウェルビーイングデータを用いて財・サービスの社会的価値を金銭換算する手法であり、英国財務省の政策評価ガイドライン「グリーンブック」で推奨されている。本研究では、ウェルビーイングの指標として生活満足度を使用し、所得が生活満足度に与える影響( $\beta_1$ )と、スポーツ活動が生活満足度に与える影響( $\beta_2$ )を分析した。推定結果に基づいて、限界代替率(単純には $\beta_2/\beta_1$ )を計算し、スポーツ活動が生み出す生活満足度の変化を、所得増加による生活満足度の変化に対応させ、金銭的価値に換算した。

### 重要な結果

- スポーツ実施は、生活満足度を約 0.2 ポイント向上させることが明らかになった。その社会的価値は年間約 36～44 万円に相当する。
- スポーツボランティア活動の実施は、生活満足度を約 0.6 ポイント向上させることが明らかになった。その社会的価値は年間約 79～98 万円に相当する。
- 全国規模の価値に換算すると、スポーツ実施は約 14.0～17.5 兆円、スポーツボランティアは約 3.2～4.0 兆円規模の社会的便益を生み出していると推計された。



スポーツ活動の社会的価値を金銭換算する枠組み